

# かいのくに 子ども観光大使2017 山梨の名物！ほうとう作りを体験しよう

2018.3.11 (日)

山梨県南アルプス市健康福祉センター



## 山梨の名物！

## ほうとう作りを体験しよう

まず子ども観光大使たちは、地粉に水を少しずつ入れながら、ほうとうの麺を作っていきます。最初のうちは、粉っぽくてまとまりませんでした。少しずつ滑らかになっていき、10分もこねるときれいな生地を作ることができました。ときには保護者の方に手伝ってもらいながら、子ども観光大使たちも自分のできることをしていきます。

今回の子ども観光大使活動では、山梨の名物であるほうとうについて学び、保護者と一緒にほうとうを麺から作り食べることで、自分たちの住んでいる山梨県のことを新しく知って、もっと山梨のことを好きになる、そういった活動を行いました。12家庭子ども19名・大人15名、計34名の参加者にお集まりいただき、楽しく活動することができました。



## 子ども観光大使とは

自分たちの住んでいる市町村の、今まで知らなかった良さに気づくことができる子ども、自分たちの住んでいる市町村のことがもっと好きになって、誇りを持てるようになる子ども、そして、知ったり学んだりした良さを発信していく子ども。それが子ども観光大使です。

山梨県だけでなく、静岡県や栃木県、山形県などでも、子ども観光大使が数多く生まれています。子どもが地元地域のことを好きになり誇りを持ってくると、とても好評です。

## 保護者と一緒に考えた ほうとうの歴史と作り方

今回、子ども観光大使たちはほうとうの歴史と作り方について学びました。ほうとう作りの途中に、子ども観光大使は保護者と一緒になって、ほうとうが作られ始めた時期やその発祥地、「なぜかぼちゃをいれるのか」「ほうとうとうどんの違いは何か」などについて学びました。

学んだあとは観光ハガキを作りました。ほうとう作りをしている写真を入れたオリジナルハガキに学んだことの感想を入れました。観光大使たちも笑顔満面でした。



## 活動に取り組む観光大使



## 子ども観光大使になるための3つの条件

- ①子ども観光大使の講座に3回以上参加すること
- ②観光ハガキ・観光俳句・観光動画のいずれかで、山梨の良さを発信すること
- ③「子ども観光大使検定」に合格すること

子ども観光大使は、ほうとうのばし・ほうとう切りだてを行います。講師の先生に教えてもらいながら、生地を麺棒を使って四角くのばしました。そして、包丁を使って大きさを揃えて切りました。のばす作業も切る作業も保護者の方が優しくフォロー。保護者の方が見守る中、安心して作業をすることができました。

材料ごとに切った野菜を煮込み、頃合いを見計らって麺を投入。箸でかきまわせながら、煮えるタイミングを見計らいます。最後に、味噌を入れて完成！自分でうった麺の味は格別！2杯・3杯と平らげました！子ども観光大使と保護者とと一緒に活動することで、地域のことを好きになるだけでなく、お互いの良さも改めて知り合うこともできます。





# かいのくに 子ども観光大使2017 山梨の名物！ほうとう作りを体験しよう

## 数多くの観光大使が誕生しました！



### 参加された方々の感想

- 今日のほうとう作りは、とても楽しくて面白かったです。クイズなどで、ほうとうのことが分かってよかったです。作る時のコツをもっと教えてほしかったです。（児童）
- ほうとうの作り方やほうとうはいつ頃から作られるようになったかなど、いろんなことが分かったので、勉強になりました。（児童）
- 初めて手作りできたので、楽しかったです。（児童）
- とても楽しかったです。（園児）
- 昨年も参加し、今年で2回目ですが、今年はすべてのことを子どもたちだけで、しっかりと作業して作っていました。とても上手になっていて驚きました。（保護者）
- ほうとうの歴史、作り方など、子どもも大人も勉強になってよかったです。（保護者）
- 孫と一緒にとても楽しくほうとう作りをすることができました。とても美味しかったです。（保護者）